

平成 29 年 7 月 29 日

## 八景会役員会議事録(7 月 29 日)

日 時： 平成 29 年 7 月 29 日(土) 14:00~17:00

場 所： 進交会館

出席者： 神尾（会長）、小元（副会長）/議事録作成、北野（副会長）、堀田（会計）、関口（総務）、戸田（総務）久保田（総務）、眞野（理事）米田（理事）、吉澤（監査）、荒野（総務）、立花（総務） ・ ・ 計 1 2 名

### <決定事項>

1. 役員分担については、役員会の新たな組織構成にしたがって別紙のとおりとする。
2. 中澤競技委員より、今後役員会への参加は辞退したいとの要望があったことに対しては、関口役員が個別に聞き込みをし、役員へ報告することとした。後日、関口役員よりメール配信があり、競技委員は役員ではないが、八景会との距離を置きたいとの意思がありそうで、本人の考えに委ねることを会長も確認した。
3. 男子部より、9月初旬に行われる B インカレ出場に関する費用支援の要望があったことに関しては、小元副会長より今後の取り扱いも含め、八景会として「宿泊を伴う試合に関する遠征費補助（内規）」を新設することが提案されたが、現状の八景会の財政状況からかんがみ、また、今後も継続して対応する（八景会規定として新設すること）ことに関して、OB・OG への説明責任もふくめ、現役より今一度、今回の B インカレ遠征必要費用を提出させ、それを基に最終の八景会としての対応を決定することとした。

役員会の次週中に宇佐美主将より、B インカレ遠征必要費用の回答があった。

第一戦敗退の場合、1泊のみで総額 620,000 円（遠征人員 31 名 内）コーチ 2 名とマネージャー 8 名を含む）。第二戦以降勝ち進んだ場合、（三位決定戦が最終日にあるのでどちらにしても 3 泊となる）総額 1,112,000 円（遠征人員は同じく 31 名）。後日、役員会の合意として最終的に八景会としての決定は、遠征人員はコーチ 1 名、マネージャー 1 名および登録規定選手人員含め 20 名を上限とし、出発日から最終試合日までの遠征 1 名あたり 1 日 3,000 円を遠征費補助とする（内規）<別紙 2>を定め、以降これにて宿泊を伴う遠地試合出場に対しての運用とすることを取り決めた。

7 月 29 日（土）、進交会館にて役員会を開催。下記について協議した。平成 29 年八景会

役員役員役割分担<別紙 1>について意見交換をした。

八景会役員会の組織構成を明確化し、それぞれの組織の自主的な組織行動の計画のもとに、自主的な実施工動をとっていく、また他の組織とも連携をとり、効率的な運用を行っていくことを確認した。また、通常時の現役との情報交換機能とは別に、現役部と八景会の大所高所からの意見交換の場として、現役、監督と八景会会長との定期的な話し合いを持つことを確認した。

また、八景会会員の拡大および、その主目的である八景会財政基盤の強化についても、前回役員会に引き続いて話し合われ、有効な手段をさらに検討していくこととした。

会議後、会員全員への八景会通信 31 号および現役情報と会費納付のお願いを同封した封書摘め作業を全員で行い、終了後郵送を行った。

#### <次回役員会>

次回役員会は 11 月を予定しているが、小元副会長から日程案を役員にメールして、その結果を踏まえて、決定することとした。

議題詳細は別途連絡。

以上